

FAQ（よくある質問）

出願について

Q 博士後期課程に進学するかどうか検討中ですが出願可能でしょうか。

A 出願資格は本学の博士後期課程へ進学する意志がある方です。博士前期課程 1 年次での出願が一般的ですが、博士前期課程 2 年次でも出願できますので、本学の博士後期課程への進学が確定してから出願してください。

Q 博士後期課程は他大学に進学することを検討中ですが出願可能でしょうか。

A 出願資格は本学の博士後期課程に進学する意志がある方です。他大学への進学を検討中の博士前期課程 1 年次生は、博士前期課程 2 年次生になって本学への進学が確定してから出願してください。

Q 他大学の学生でも出願資格はありますか。

A 条件を満たしていれば可能です。出願資格は募集要項に記載しています。出願前に必ず募集要項をご確認ください。

Q 出願登録フォームにアクセスできません。

A 本プログラム事務局までご連絡ください。

Q 出願書類に記載するメールアドレスは学内アドレス、個人アドレスのどちらを使えば良いですか。

A 連絡の取りやすいメールアドレスであればどちらでも構いません。

Q ユニットはどうやって決めたらよいでしょうか。

A 自分の専門分野に近いユニットを選択することを推奨します。ユニットの詳細は、本プログラム公式ホームページの「[ユニット紹介](#)」ページをご確認ください。なお、研究室ローテーションは所属ユニット以外のユニットが提供する研究室でも実施可能です。

Q 高等専門学校出身者はどの成績証明書を提出すればよいですか。

A 学部 1 年次から 4 年次に相当する成績証明書を提出してください。すなわち、高等専門学校本科卒業者は本科の成績証明書を、専攻科修了者は本科および専攻科両方の成績証明書を提出してください。他大学から本学へ学部 3 年次に編入した者も編入前の大学 1、2 年次の成績証明書をあわせて提出してください。

Q 出願書類を日本語以外で記入しても良いですか。

A 日本語または英語で記入してください。面接試験は、出願書類（様式 1・様式 2）で使用した言語で受けてください。

Q TOEIC の公式認定証が提出締切に間に合わないときはどうしたらよいですか。

A 英語能力に関する情報の提出は必須ではなく、出願者の判断に委ねます。公式認定証が出願締切までに間に合わない場合でも出願に支障はありません。なお、認定証の提出を希望する場合は、オンラインで確認し、ダウンロードできる TOEIC の「デジタル公式認定証」を利用することができます。詳細は TOEIC 公式サイトをご確認ください。

Q 出願書類はメールで提出できますか。

A 原則として、募集要項で指定された方法により提出してください。メールでの提出は受け付けていません。

Q 出願書類の「小論文」に図や写真を加えてもよいですか。

A はい、加えてもかまいません。ただし、ページの追加や余白の変更はしないでください。

Q 推薦書は誰が作成し、誰が提出しますか。

A 指導教員が作成し、所定の Forms（学内専用）から指導教員本人がアップロードしてください。
推薦者は、出願者の専門性を熟知している方であれば、KOAN 上の指導教員である必要はありません。例えば、修士論文研究の指導教員や、博士後期課程で指導予定の教員でも構いません。
なお、指導教員が学外者の場合には、Forms からアップロードすることができませんので、本プログラム事務局までご連絡ください。別途、提出方法をご案内します。

Q 出願後に書類の差し替えはできますか。

A 原則として、提出後の書類の差し替えは認めません。

Q 出願の締め切りを過ぎた場合は受け付けてもらえますか。

A 締切日時を過ぎた出願は受け付けません。余裕をもって手続きを行ってください。

Q 出願に関する問い合わせ先を教えてください。

A 本プログラム事務局（honor-jimu@office.osaka-u.ac.jp）までメールでご連絡ください。

選考について

Q 面接は日本語で実施されますか。

A 面接は日本語または英語で実施します。面接時のスライドは、出願書類（様式 1・様式 2）で使
用した言語と同じ言語で作成し、同じ言語で発表してください。

Q 選考結果に関する問い合わせはできますか。

A 選考結果に関する個別の問い合わせには応じられません。

Q 面接試験はいつ、どのように行われますか。

A 面接試験は募集要項に記載する期間内に、学内において対面形式で実施します。日時、場所等の詳細は書類選考の合格発表時に本プログラム公式ホームページにて発表します。

その他

Q 大阪大学次世代挑戦的研究者育成プロジェクト（SPRING）の支援を受けながら本プログラムの履修はできますか。

A はい、履修できます。ただし、SPRING の支援期間中は、併給調整により本プログラムの給付型奨学金は支給されません。

Q 理工情報系オーナー大学院プログラムを履修中に日本学術振興会の特別研究員（DC1、DC2）に採択された場合、本プログラムの履修は継続できますか。

A はい、履修の継続はできます。ただし、特別研究員採択期間は、本プログラムの給付型奨学金は支給されません。

Q 履修開始後、学生同士で交流する機会がありますか。

A はい、履修生の参加が可能な研究室ローテーション研修や学外研修の成果報告会が年に数度あります。また、学生の自主的な企画による交流イベントも開催されています。積極的に参加してみてください。